令和８年９月定例会　No. 84
石川県志賀町議会

みて！よんで！しって

ぎかいのひろば



この光を、次代へ
震災を乗り越え共に歩む富来商工会の挑戦



志賀町議会

トピック

★この街の明日を、灯す顔！
突撃インタビュー・
富来商工会「光の絆」イベント実行委員の皆さん … P2～3

★町政を問う！
一般質問・５氏が登壇 … P10～15

★選挙についてどう思う？
聞かせてください
あなたの声～志賀高校生編～… P16～17

突撃インタビュー

「光の絆」が繋ぐ未来
復興の灯火の先にある地域商工業の可能性

延べ1,000人の「汗」で彩った夜空と商工会が抱く危機感そして希望

能登半島地震からの復興を願い、富来の夜空と海岸を彩った「光の絆」イベント。

９月12日（土）富来商工会が、町内外の支援者とともに設営に汗を流し、手作りで灯された光は、地域の強い結束を改めて示しました。

本特集では、大盛況に終わったイベントの舞台裏とともに、直面する後継者不足や過疎化という厳しい現状と、持続可能な未来に向けた富来商工会の挑戦についてお話を伺いました。



富来商工会事務局長
北　富美夫さん



富来商工会主席
経営指導員
濱野　誠一さん

1 今回で３回目となった「光の絆」イベント。今年、特に手応えや変化を感じた点はどこですか。（寺井委員）

最大の成果は、住民による**「手作りの絆」**の再確認ができたことです。

老人クラブや学生ら延べ１,０００人近くが設営から清掃まで関わりました。

今年は新しく整備された多目的広場へ会場を移すという挑戦もあり、花火会場との導線の確保など課題もありましたが、業者の力や行政の補助金任せではなく、**住民の「汗」で作り上げるイベント**こそが、地域の自立と結束に繋がると確信しています。



2 賑わいを一過性で終わらせないための「経済への仕掛け」についても教えてください。（富澤委員）

地域商業の活性化には**「継続性」**が不可欠です。

テント市に加え、10月末まで町内20店舗以上が参加するスタンプラリーを実施しました。

スタンプラリーは震災前にも多くの応募があった実績のある企画です。

イベント当日の集客を、いかに期間中の店舗回遊と実売に繋げるかに重点を置いています。









祭りのあとの「静かな危機」
富来商工会が願う地域商工業の持続



富来商工会 会長
寺岡　才治さん

3 富来地域の人口が5年間で20％減少しているという衝撃的なデータがあります。後継者不足への対策は急務ですね。

非常に強い危機感を持っています。志賀地域と比較しても過疎化・高齢化のスピードが速く、特に家族経営における後継者不足が深刻です。商売をしたくても、跡を継ぐ者がいない。このままでは5年後、10年後には地域の事業所が持たなくなるという、まさに「静かな危機」の真っ只中にいます。

4 深刻な後継者・人口減少への対策として、学校教育を軸にした活性化についてはどう考えますか。

私は、例えば小中一貫校の開校を機に、「山村留学」や「スポーツ留学」などで県内外から子供たちを呼び込み、共に移住してきた親世代が地元の農業や商売を継承するような仕組みは作れないかと考えております。（南委員）



非常に心強いご提案です。全国でも、留学制度をきっかけに親が地域に惚れ込み、創業に繋がった成功事例があります。子供たちの声が地域に響くことは、既存の事業者の活力にもなります。

教育委員会や町と協力して、商工会としても「商売ができる環境」を整えることで、移住者の受け皿として貢献したいと考えています。

5 最後に、今後の富来商工会の展望と議会に求める支援を教えてください。（櫻井委員）



まずは、富来の商売の形を「立ち寄る場」から、体験や宿泊を通じた「滞在して楽しむ場」へ自ら変えていくことです。

事業所が減り続ける今、既存の枠組みに縛られず、新しいゲストハウスの連携や創業支援など、商工会がハブ（拠点）となって動く必要があります。

議会には、私たちが抱くこの「地域商工業の切実な危機感」を直視していただきたい。前例のない民間の新しい挑戦に対し、予算や制度の壁を越えて「富来の商い」を直接的に後押しする、現場に即した柔軟な支援を強く要望します。

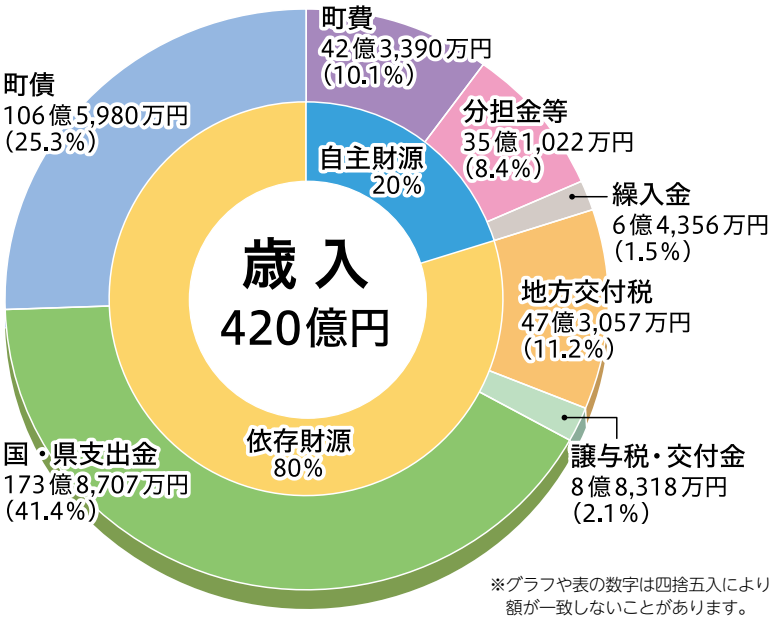
「突撃インタビュー」を終えて…

住民の結束力に感銘を受ける一方、事業所激減の現状に強い危機感を共有しました。単なるイベント支援に留まらず、移住促進や事業承継など、現場の切実な声を反映した抜本的な政策立案に議会として尽力して参ります。

（議会広報特別委員会）

お問合せ先：富来商工会　☎42-2562

396億円」議員が評価！



※グラフや表の数字は四捨五入により額が一致しないことがあります。

9月定例会は、9月1日から同月17日までの17日間の会期で開かれ、一般会計や各会計の補正予算をはじめ、条例の制定及び改正に係る議案、工事請負契約の締結、工事請負契約に係る議決の一部変更の議案や財産の取得など、議案が10件、認定8件、請願2件、同意3件を審議しました。

（※議決結果はp8～9参照）

提案理由説明映像はコチラから

自主財源：町税など町で集めたお金
依存財源：国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりするお金

産業用地整備促進伴走支援事業

産業用地整備に向け外部に支援の委託をし、それを受け今年度は地元へ用地取得の説明が始まり順調。

越後　敏明 議員



農地農業用施設災害復旧費

被災農地・施設の復旧が進んでいるが、大雨被害が重なった。農業者の生産性向上のためにも完全復旧を急いでください。

林　一夫 議員



生業復旧関連予算　学校・病院の復旧復興関連予算

復興関係予算については一部を除けば概ね執行されたかと思います。入札不調で滞る復興との報道もあり、早急な対策が求められる。

堂下　健一 議員



商工費全事業

イベントや観光で皆様の明るい笑顔を見れて幸せでした。主催者の皆様ありがとうございました。

小林　克嘉 議員



地域コミュニティ施設等再建支援事業

能登半島地震からの復興と「かえる志賀町」の実現に向け、地域の絆を維持する極めて重要な事業。集落の拠点再建は住民の安全安心とコミュニティの活性化に不可欠であり、今後も迅速な支援が強く期待されます。

冨澤　軒康 議員



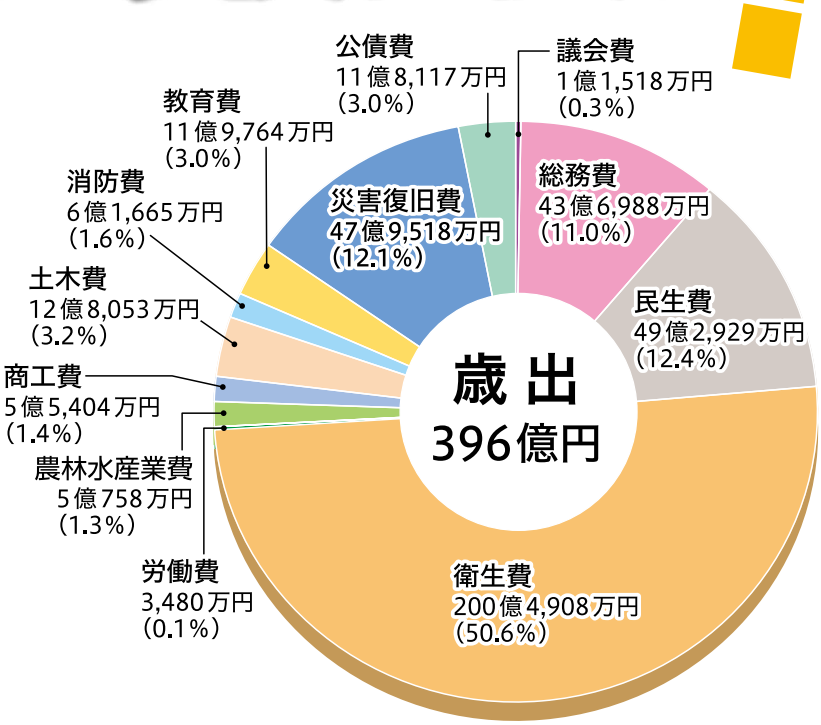
令和7年度各会計別決算状況

会計名		歳入額	歳出額	差引残額
一般会計		420億 4,830万円	396億 3,102万円	24億 1,728万円
特別・企業会計	国民健康保険	25億 2,401万円	25億　990万円	1,411万円
	後期高齢者医療	4億 7,504万円	4億 7,997万円	△ 493万円
	介護保険	31億 8,328万円	31億 6,905万円	1,423万円
	診療所事業	1億 8,070万円	1億 8,070万円	0円
	水道(収益的収支)	6億　24万円	5億 5,050万円	4,974万円
	水道(資本的収支)	3億 2,116万円	7億 5,822万円	△ 4億 3,706万円
	下水道(収益的収支)	10億 6,799万円	11億　836万円	△ 4,037万円
	下水道(資本的収支)	13億 6,583万円	14億 9,164万円	△ 1億 2,581万円
	病院(収益的収支)	13億 5,366万円	14億 2,015万円	△ 6,649万円
	病院(資本的収支)	6億 6,916万円	6億 6,628万円	288万円

収益的収支：一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する全ての収益と費用。
資本的収支：建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還などの費用と、その財源となる収入。

令和7年度 決算 一般会計 「どう使われた？」

今定例会では
令和7年度決算が
認定されました。
各議員が予算時に注目した
事業について
どのような評価をしたのか
を聞きました。



富来地域小中一貫校に関わる事業

実施設計まで進展した点は評価。住民・保護者との対話は基本設計前から専門家を交えて行うべきだった。



梢　正美 議員

なりわい再建支援補助金交付事業

地震で被災した道路、上下水道等の復旧は着実に進んでいるが、復旧完了までの長期化が課題。単なる原型復旧にとどまらず、将来の災害に備えた強靭化と維持管理コストを見据えた整備が求められると思う。



櫻井　俊一 議員

志賀原子力発電所環境安全対策協議会補助金運行事業

原発と火発をやめさせ、直ちに省エネ、再エネに切り替えさせましょう。全く逆の方に予算を使っています。



中谷　松助 議員

災害公営住宅整備事業

最終的には好適地に落ち着いたが、当初は浸水想定地区や急傾斜地を提示する等迷走し、スピード感に欠けた。結果として事業に遅れが生じた。



南　正紀 議員

地域防災計画整備事業

新たな防災計画でも、本部会議に議会はオブザーバー参加であり町民の声をどう反映するのか。計画整備の成果と具体的な対応手順の明示を強く求める。



福田　晃悦 議員

コミュニティバス運行事業

町民になくてはならないものだと思います。



表谷　茂浩 議員

富来地域小中一貫校整備事業（基本設計及び実施設計業務委託料）

富来地域小中一貫校整備事業と多目的広場事業を振り返り、決算時においても、経緯結果について、十分な答弁を得られなかった。



寺井　強 議員

Check! 震災復興と地域活性化の両立で健全財政維持を

令和７年度一般会計決算は、実質収支で黒字となった。財政健全化判断比率は全指標で良好であり、経常収支比率も税収増等により改善した。

一方、震災対応により町債残高は大幅に増加している。今後は交付税等の減収が見込まれるため、復旧・復興や防災対策を推進しつつ、移住定住の促進等による地方創生と健全な財政運営の両立が求められる。

代表監査委員　山本　恵三
監査委員　林　一夫

キッチンカー購入案 見切り発車!?

否決



議案に対する討論

平時の運用が明確ではない現状 『あれば…』より優先順位の確認を

今定例会の最終日、議案第90号「財産の取得について」が追加提案されました。内容はキッチンカーの購入に関するもの(購入額2,563万円：うち半分は国の補助金)でしたが、採決の結果、賛成5、反対6の賛成少数により、本案は否決されました。

討論とは、議案や請願に対し、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員に賛同を求めるものです。

民間連携の優先と職員への負担を指摘

南 正紀 議員



【反対討論の要旨】

自然災害への備えは重要だが、本案には反対する。

被災時に大きな負担が生じる町職員に運営を担わせるのは酷である。運用方法によっては、特定の個人に負担が集中する恐れがある。

現在は多くの自治体が民間と協定を結び手配する手法をとっており、まずはその検討を進めるべきだ。

また他自治体への支援条件や平時の運用も不明確である。

現時点で他に優先して備えるべき点は多々ある。

反対

平時計画なき購入に反対

小林 克嘉 議員



【反対討論の要旨】

災害への備えという趣旨は理解するが、住民の要望をそのまま採用せず、財政負担に見合う効果や優先順位を厳格に検証すべきだ。

今は避難所の備蓄や設備整備など、基礎的な防災力の底上げが急務であり、キッチンカー導入の優先度は低い。

投資効果や運用体制が不明確な現状での取得は、町の未来に対する責任ある投資とは言えず、今は見送るべきである。

賛成

被災地へ迅速な温かい食支援の備えを

梢 正美 議員



【賛成討論の要旨】

能登半島地震の炊き出し経験から、町自らが動かせる「調理機能」の必要性を訴え賛成する。

発災直後は道路寸断等で外部支援が届かない場所があり、移動可能な設備があれば迅速に食支援が行えたはずだ。

平時から防災士らと訓練を重ね体制を整えることで、支援の選択肢を増やし、住民の命を守る重要な備えとなる。

請願第3号・4号

反対

南 正紀 議員

非核三原則堅持は国防の現実的議論を阻む恐れがあり、比例定数削減は女性参画の阻害が目的ではないため、両請願に反対である。

賛成

中谷 松助 議員



非核三原則は国是であり堅持すべきだ。比例定数削減は多様な民意を切り捨て女性の政治参加を阻むため、両請願に賛成である。

志っ賀りチェック！ 委員会審査

予算決算常任委員会

当初予算・補正予算・決算にかかる分野を審査します。

令和８年度

９月補正予算

特別・企業会計

災害に強い止まらない下水道へ

質疑 BCP（業務継続計画）の内容としてはどのようなことを更新するのか。

答弁 前回は、令和2年度に策定しているが、今回は能登半島地震等の経験を踏まえ、災害時の対応力を高める内容になるよう改定を行う。

一般会計

四季を通じて学びを止めない

質疑 小学校の空調設備整備の進捗は？

答弁 志賀小学校の空調整備について、令和9年度の補助活用を目指している。

避難所・熱中症対策で補正予算により設計に着手し、国の補助を得て早期に整備する。

健やかな冬を早めの備えで

質疑 子供のインフルエンザ接種補助を前倒しできるか。

答弁 供給や通知のスケジュールもあるが、流行が早まっているため、最短で開始できるよう準備を急いでいる。

今年から接種券の郵送方式の変更で利便性も向上させた。

総務産業建設常任委員会

役場内部事務や地場産業にかかる分野を審査します。

防災行政無線 深夜の危機も確実に

質疑 緊急放送時、周知の方法を工夫すべき。

答弁 無線のほかに、テレビ（データ放送など）や登録制メール、公式LINE、電話・FAXによる個別連絡を併用しており、多層的な手段で情報が確実に届くよう運用する。



教育民生常任委員会

教育や住民の暮らしにかかる分野を審査します。

長寿を祝う真心を届ける

質疑 敬老福祉金の申請漏れの有無と確実な支給に向けた対応は。

答弁 基本的に申請漏れはない。

既存口座を活用し、プッシュ型で順次支給する。

介護医療院「夕なぎ」の増床

質疑 4床増に伴う職員体制は確保されているか。

答弁 基準では看護師7名、介護職員8名の配置だが、看護師9名、介護職員10名を配置し、確保している。

議決結果

９月定例会

議案番号	議案名と主な内容　（議案名は一部省略してあります）	議決結果
請願 3	**志賀町議会として、日本政府に「非核三原則の堅持」を求める意見書の提出を求める請願書** … 日本政府に核兵器の持ち込み禁止と核兵器廃絶を求める。 提出者：原水爆禁止石川県協議会 代表理事　内藤晴一郎 氏　紹介議員：中谷 松助 議員	**不採択** 賛２　反９
請願 4	**国に、女性の政治参加を阻み、多様な民意を切り捨てる比例定数削減に反対する意見書の提出を求める請願** … 日本政府に比例定数削減を阻止し、多様な民意とジェンダー平等を反映する選挙制度改革を求める。 提出者：新日本婦人の会石川県本部 会長　飯森 博子 氏　紹介議員：中谷 松助 議員	**不採択** 賛２　反９
議案 84	**志賀町能登中核工業団地コミュニティ施設条例の一部を改正する条例について** … 工場用地の用に供するにあたり、能登中核工業団地コミュニティ施設内のテニスコートを用途廃止するため、条例の一部を改正するもの。	**可決** 賛11　反０
議案 85～87	**工事請負契約の締結について（町道第4007号貝田田中線外道路災害復旧工事（６災5138号外）～（町道第3002号豊後名町居線外道路災害復旧工事（６災12006号外）** … 災害復旧工事に係る請負契約	**可決** 賛11　反０
議案 88・89	**「工事請負契約の締結について」の議決の一部変更について（町道第8037号笹波浜田線道路災害復旧工事（６災5135号外））（町道第6089号栢木大福寺線道路災害復旧工事（６災10982号））** … 災害復旧工事に係る請負契約	**可決** 賛11　反０
議案 90	**財産の取得について「キッチンカー２台」** … 株式会社ゼックから2563万円で取得	**否決** 賛５　反６
同意 1～3	**志賀町固定資産評価審査委員会委員の選任について** … 任期満了に伴う推薦で、北口顕照氏(再任)、土田善博氏(再任)、大正路哲郎氏(再任)の答申を求めるもの。	**同意** 賛11　反０

４回臨時会

【令和８年10月７日 開会】

議案番号	議案名と主な内容　（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案 91	**令和８年度一般会計補正予算（第３号）** … ８月27日発生の豪雨災害に伴う復旧事業にかかる所要額を補正するもの。 補正額：２億6925万円　　歳入歳出予算額：287億4225万円	**可決** 賛９　反１
議案 92	**財産の取得** …「復興公営住宅『富来地域その１』（仮称）」大和ハウス工業株式会社から26億1712万円で取得	**可決** 賛10　反０



議案第90号採決の様子
賛成少数で否決した

※議長は採決に加わりません。

委員長報告・採決の映像は
こちらから

議決結果

※議長は採決に加わりません。

3回臨時会

【令和8年8月6日 開会】

臨時会映像はコチラから

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
報告3～5	**専決処分の報告（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について）**	**報告のみ**
議案65～68	**工事請負契約の締結について「谷屋川河川災害復旧工事（6災12019号）」～「町道第3078号荒屋輪島線道路災害復旧工事（6災10911号）3工区」**…災害復旧工事に係る請負契約	**可決** 賛11　反0
議案69	**工事請負契約の締結について「志賀町文化ホール震災復旧工事」**…災害復旧工事に係る請負契約	**可決** 賛11　反0
議案70	**財産の取得について「原子力災害対策用エアテント」**…株式会社太陽テントから3828万円で取得	**可決** 賛11　反0

9月定例会

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案71	**令和8年度一般会計補正予算（第2号）**…能登半島地震の復旧支援、ごみ焼却施設建設費の増額、行政情報化の推進にかかる所要額を補正するもの。 補正額：26億2839万円　歳入歳出予算額：284億7300万円	**可決** 賛11　反0
議案72～75	**令和8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）～令和8年度町立富来病院事業会計補正予算（第1号）**…歳入では国庫補助金の増加や、介護医療院の入所定員数の増加他会計補助金の増額、歳出ではシステムの改修や事業確定に伴う国庫補助金等の精算、各会計における人事異動に伴う経費の増額 … 7ページ参照	**可決** 賛11　反0
議案76	**志賀町認可地縁団体印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について**…地方自治法施行規則の改正に伴い、所要の改正を行うもの。	**可決** 賛11　反0
議案77	**志賀町印鑑条例の一部を改正する条例について**…出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律の施行により、所要の改正を行うもの。	**可決** 賛11　反0
議案78	**志賀町福祉金支給条例の一部を改正する条例について**…敬老福祉金について、高齢者及びその家族等の申請手続に係る負担の軽減と、申請漏れによる未受給を防止し、支給対象者が確実に給付を受けられるようにするため、所要の改正を行うもの。	**可決** 賛11　反0
議案79	**志賀町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について**…地域における医療及び介護サービスの提供体制の強化を図るため、町立介護医療院夕なぎの入所定員を増員するため所要の改正を行うもの。	**可決** 賛11　反0
議案80・81	**「専決処分の承認について（工事請負契約の一部変更、工事請負契約の締結について）」の議決の一部変更について**…災害復旧工事に係る請負契約	**可決** 賛10　反0
議案82・83	**「工事請負契約の締結について」の議決の一部変更について（町道第740号西山羽咋線道路災害復旧工事（6災10883号）1工区）（町道第570号土田幹線外道路災害復旧工事（6災12005号）1工区））**…災害復旧工事に係る請負契約	**可決** 賛10　反0
認定1	**令和7年度志賀町一般会計歳入歳出決算認定について**…4・5ページ参照	**認定** 賛10　反1
認定2～8	**令和7年度志賀町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定～令和7年度志賀町立富来病院事業会計決算認定について**…4・5ページ参照	**認定** 賛11　反0











5氏が登壇 町政を問う!

一般質問とは

議員が町政一般について、報告や説明を求め、質問することをいいます。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて概ね40分です。

PAGE 11 **小林 克嘉 議員**
1. 民業サービスの充実と副業による改善について
2. 関係人口の拡大と受け入れ体制の整備について
3. 志賀町の海岸資源について
4. 外国人住民へのごみ分別周知と対応について

PAGE 12 **中谷 松助 議員**
1. 断層の「割れ残り」が危惧される付近の志賀原発の廃炉を求めよ
2. まずは、小・中学校体育館と総合体育館にエアコン設置を
3. 防災避難用備蓄品セットの無料配布の考えはないか
4. まずは訪問介護事業所への独自支援で在宅サービスの維持を

PAGE 13 **林 一夫 議員**
1. データセンターの誘致について
2. 外国人労働者の受入れについて
3. 公務員の民間企業での副業・兼業について

PAGE 14 **梢 正美 議員**
1. 警戒情報を「命を守る行動」へ！地域で機能する防災体制を問う
2. 道の駅再整備を町全体の「稼ぐ力」へどうつなげるのか
3. 猛暑と災害から命を守る！体育館の空調整備をどう進めるのか

PAGE 15 **堂下 健一 議員**
1. トキ認証米の志賀町での取り組みについて聞く
2. 「能登国際芸術祭」が志賀町以北で29年度開催されるが、町としての抱負を聞く
3. 自然災害対応について聞く

議員のひとこと

一般質問を終えての議員の感想です。

副業・スポットワークで民業サービスを守れ

民間と連携し事業継続を支援

町長

小林　飲食店や運転代行など、生活を支える民業サービスの減少は深刻な構造的課題だ。
　タイミーとの包括連携を復興支援に留めず、生活インフラである事業の継続を図り、副業・兼業やスポットワークの積極活用により、人手不足を解消すべきだ。
　事業継続に向けた町によるマッチング支援の具体策を問う。

町長　人手不足によるサービス縮小は、定住環境にも関わる重要な地域課題と認識している。
　タイミーとの連携を通じ、飲食・代行業を含む幅広い業種でスポットワーク活用を推進する。
　商工会等と密に連携し、多様な働き方の創出と事業継続の環境整備に努める。

議員のひとこと

私が思う、今志賀町が抱えている問題と、改善しなければならない課題を質問させていただきました。



小林（こばやし）　克嘉（かつよし）　議員

関係人口を呼び込む滞在拠点と支援体制を問う

動画はコチラから

拠点整備と協力隊で受入強化

企画財政課長

小林　志賀町の交流・関係人口拡大に向け、富来学舎以外の滞在拠点や宿泊環境の不足を解消すべきだ。
　町外人材と地域ニーズを繋ぐコーディネーターの育成や受入組織の確立、さらに交通費補助などの町独自支援やターゲットを明確にした施策方針を問う。

企画財政課長　関係人口拡大には拠点整備が重要であり、道の駅周辺の再整備等で滞在機能の充実を図る。
　外部人材を地域のつなぎ役として、地域おこし協力隊を活用し、受入体制を強化する。
　今後は国の「ふるさと住民登録制度」の活用や宿泊・交通費補助を検討し、若者やシニア等の各層に響く取組を推進する。

その他の質問

小林　海岸を一体的エリアと捉えた回廊整備とゴミ対策の強化を問う。

町長　道の駅を核に観光周遊を促し、漂着ゴミは国・県と連携して、優先度の高い箇所から対応する。

小林　外国人へのごみ分別周知と、地域負担軽減に向けた支援を問う。

生活環境課長　現場の状況に応じて、管理者と連携し、多言語ポスター活用等で適切なルール周知に努める。



海岸資源がつなぐ、人・仕事・地域の未来

断層の「割れ残り」が危惧される付近の志賀原発の廃炉を求めよ

安全確保を最優先に

危機対策課長



なかたに　まつすけ
中谷　松助　議員

議員のひとこと

ご一緒に省エネ、再エネで気候危機を止めましょう。

中谷　北陸電力は能登半島北部の活断層想定を延長したが、過去の地震では断層の「割れ残り」が動く危険性が指摘されている。

志賀原発付近の西方沖にも未知の割れ残りがある可能性は否定できず、現状での運転は極めて無謀である。

よって町は即刻廃炉を求め、再生可能エネルギー開発による地域経済のリードを目指すべきではないか。

危機対策課長　志賀原発については令和6年能登半島地震を踏まえ原子力規制委員会が審査を継続中である。

「割れ残り」への不安は認識しているが、予測は困難である。

運転可否は国の厳正な審査に基づき判断されるべきであり、安全確保を最優先に注視して対応していく。

動画はコチラから

小・中学校体育館と本町総合体育館にエアコンの設置を

国の支援活用し整備加速

町長

中谷　避難所となる体育館の冷房設備は、災害時の関連死を防ぐために必須である。

小中学校では児童生徒の熱中症対策となり、総合体育館の冷房化はスポーツ合宿等の誘致拡大にも寄与する。

国も設置率100％を目指している中、国の補助金等財源措置を最大限に活用し、早急にエアコンを設置すべきではないか。

町長　猛暑から児童生徒を守り、避難所機能を強化することは重要課題である。

国が設置目標を令和13年度へ前倒ししたことを受け、町も財政支援を最大限活用し整備を加速させる。

今定例会に関連予算を計上し、富来地域は新校整備に合わせて対応する。

総合体育館は多額の費用を要するため、まずは学校を優先して進める。



猛暑も厳冬も、快適な温度で避難生活の不安を和らげる

その他の質問

中谷　防災避難用備蓄品セットの無料配布の考えはないか。

危機対策課長　家庭での自助が基本だが、配布の効果や実施方法を今後検討する。

中谷　訪問介護事業所への独自支援で、在宅サービスの維持をすべきでは。

健康福祉課長　独自支援は考えていないが、人材育成やボランティア連携でサービスの充実に努める。

前例踏襲を越える志賀の挑戦に新産業の未来図は

GX産業団地の実現へ邁進

町長

林　能登半島地震後の深刻な人口減少に対し、前例踏襲ではない斬新な振興策が急務である。

その一環として、AI需要や国の地方分散方針を背景とした「データセンター誘致」の現状を問う。

本町における進捗や今後の予定、想定される功罪を含め、地域活性化に向けた具体的な見解を求める。

町長　データセンター誘致は、大規模投資による固定資産税増収で安定財政を築き、地域経済を活性化させる。

電力負荷等の課題に留意しつつ、現在はGX産業団地整備に向けた基本計画策定や用地協議を進行中だ。

今後は国の支援も活用し、復興の柱となる新産業基盤の構築と人材育成により、持続可能な町を目指し全力で取り組む。

動画はコチラから

共に暮らす未来へ！外国人労働者の受入れ体制は

受入れと生活を全力支援

商工観光課長

林　深刻な労働力不足の中、産業維持には外国人材との共生が不可欠だ。

町内でも若年層減少と高齢化が進む中、官民で魅力ある職場・地域づくりに努め、外国人労働者を積極的に受け入れる必要がある。

そこで、町としての受入れ姿勢や共生への考え、具体的な取り組みを問う。

商工観光課長　能登の労働力不足は深刻であり、町が7月に実施した調査でも製造業や介護等の現場で外国人労働者の需要が確認された。

町は負担軽減のための費用支援や日本語研修、住民との交流、専門家による個別相談会など、受入れと定着を支える体制整備と共生社会の構築に全力で取り組む。

その他の質問

林　深刻な労働力不足を受け、職員が公務の傍ら民間就労する副業・兼業の解禁を聞く。

地域産業への理解やスキルアップの観点から、民間就労の要件や対応策を問う。

副町長　兼業は能力向上に有効だが、復興下の健康管理や本務への影響に配慮が必要だ。

兼業の許可は現行規則を基本としながら、他例を参考に今後のあり方を慎重かつ前向きに検討する。



復興の先へ、未来を支える新たな財政基盤
（※データセンターイメージ）



林（はやし）　一夫（かずお）　議員

議員のひとこと

能登は大きな社会変化の中にあると思います。志賀町行政も優先順位を決めて着実に前に進みましょう。

命を守る情報を地域の行動へ

避難行動の周知と連携を強化

危機対策課長



梢（こずえ）　正美（まさみ）　議員

議員のひとこと

一歩前進した答弁も、これから深めたいことも。町民の暮らしにつながる議論を重ねていきます。

梢

8月の大雨を教訓に、行政と地域の情報を結び付け、自助・共助による具体的な行動に繋げる体制の構築を求める。

避難指示下で行動判断が難しいとの現場の声を受け、町と自主防災組織が双方向で情報を共有し、主体的な防災行動に繋げるべきだ。

住民が警戒レベルを正しく理解し、命を守る行動を促すための周知の工夫や、地域が機能するための連携体制の構築、組織への支援について町の考えを問う。

危機対策課長

警戒レベルの意味と避難行動の周知をあらゆる媒体で継続し、住民の判断を助ける分かりやすい情報発信に努める。

災害時には町と地域の情報を双方向で共有する連絡体制を充実させ、的確な対応を図る。

また、自主防災組織のスキルアップ支援に加え、地域の自助・共助の支えとなる「届出避難所」制度の創設を準備し、防災体制を強化する。



双方向の連携と共助で、命を守る体制へ。

動画はコチラから

「造る」から「稼ぐ」へ！道の駅再整備の真価

滞在型観光と地域連携で経済循環を創出

商工観光課長

梢

道の駅周辺の再整備に巨額を投じる中、単なる施設整備に留まらず町全体の「稼ぐ力」の強化が不可欠である。

宿泊客を町内周遊や消費へ繋げ、地元事業者に経済効果を波及させる戦略が求められる。

そこで、町が目指す具体的な成果指標、インバウンドを見据えた周遊戦略、各分野が連携する実施体制の構築について問う。

商工観光課長

PFIによる宿泊施設整備等を先行し、滞在型観光への転換で消費拡大を図る。

道の駅を核に入込客数等の成果指標を設け、地元事業者が参画する周遊企画や特産品販売を推進する。

広域観光ルートも活用し、町や商工団体、地域商社が連携する体制を構築。

地域内経済循環を高め、持続的な「稼ぐ力」の創出を目指していく。

その他の質問

梢

猛暑・避難所対策として体育館の空調整備を早期実現する具体的工程や優先順位を問う。

町長

避難所・熱中症対策で補正予算により設計に着手し、国の補助を得て早期に同時整備する。

トキ認証米の普及と本町の現状を問う

上位認証への移行を支援

農林水産課長

堂下　県内のトキ認証米制度は当初目標を大幅に上回る広がりを見せている。

そこで志賀町における放鳥予定地区外や隣接自治体に近い地区での取り組み状況を問う。

また、他自治体と比較した本町の現状と、取り組みの強弱が生じている原因についての分析を問う。

農林水産課長　町内では尊保や富来地区など広範囲で取り組まれ、認証取組面積では能登9市町中4番目である。

5割削減認証は労力や収量への不安から普及に課題があるが、今後はブランド力向上を見据え、県やJAと連携して高付加価値化や上位認証への移行、環境配慮型農業の拡大を支援していく方針である。

動画はコチラから

能登の玄関口として芸術祭の参加を問う

復興最優先で負担を見極め参加を判断　町長

堂下　奥能登から「能登」へ名を変えた国際芸術祭は、二〇二九年に本町を含む六市町で開催される。

能登の玄関口という立地と描く会の実績を活かし、震災復興と町のアピールに繋げる絶好の機会とすべきだが、開催に向けた町の抱負を問う。

町長　能登半島の復興と魅力発信の重要な機会として「能登国際芸術祭」への参加について、前向きに検討している。

現在、震災復興業務が最優先であることから、職員の負担や財政面を含め、開催に向けた体制について県と協議を進める。

参加が決定した際には、復興と地域活性化に資する取組となるよう、能登半島の玄関口に位置する優位性を活かし、志賀町ならではの展示や地域資源の見せ方について検討する。



トキ舞う里山を芸術と創造の玄関口に

その他の質問

堂下　熊本地震の教訓から、避難所の暑さ対策やTKB備品の充足度、物資供給の課題等を問う。

町長　避難生活の質向上とTKB備品の充実を図り、民間連携で確実な物資供給体制の強化に努める。

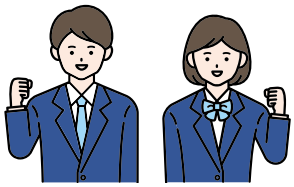


議員のひとこと

今や天災・自然災害は、毎年全国どこかに必ずという認識に改め、対応が迫られる時代。一因は人間生活か。

堂下（どうした）　健一（けんいち）　議員

聞かせてください！ あなたの声



～ 志賀高校２年生編 ～



「誇れる母校を、残したい」
生徒が仕掛ける魅力化戦略

生徒 志賀高校の生徒が減っているのが心配で、どうにか増やしたいと探究活動をしている。町議会として学校を残すために、どんな対策を考えている？



寺岡 零唯さん



南委員



角谷 真葵さん



青木 心海さん

議員 まずは、みんなが「志賀高校の魅力」を外へ向かって発信することが一番の近道だね。レスリングやボランティア活動、一生懸命な姿を見せることが最高のアピールになる。町も通学費の補助などで支えているけれど、これからは「山村・スポーツ留学」みたいに、町外から人を呼んでそのまま住んでもらえるような、新しい仕組みを真剣に考えていくつもりだよ。みんなの学校を、一緒に守っていこう。

議員さんは「怖い人なのかな？（笑）」
税金の使い道を審査する、町への審判

生徒 選挙や政治といっても、議員さんを身近に感じたことがなくて、具体的に何をしているのかイメージがわかない。どんな役割を果たしているのか教えてほしい。



小林 千紗さん



磯　悠司さん



櫻井委員

議員 一番の仕事は、町がやろうとしていることが「本当にみんなのためになるか」を見極めること。予算をどう使うか、「やっていいよ」「それはダメだよ」と判断する。みんなの高校への支援も、実は私たちが議論して決めているんだ。みんなの生活をより良くするために、責任を持って「最終判断」を下す役割、というわけだね。

委員会傍聴について

町議会では、開催される委員会を試行的に公開します。
傍聴をご希望の方は、委員会開催の30分前までに議会事務局までお越しください。
傍聴は６名までとし、希望者多数の場合は抽選となります。
※審査議案の内容によっては傍聴できない場合があります。

時間の変更などがある場合はLINEやメールにてお知らせします。最新情報をチェックの上、お越しください。

志賀高校の活動をぜひご覧ください。
活動の様子は下のＱＲコードから↓

志賀高校
ホームページ

@SHIKAHIGHSCHOOL
公式インスタグラム

９月17日、教室に集まったのは、地域課題の解決に挑む「志賀探『みらい図』」に取り組む生徒たち。「選挙って？」「町の未来は？」という素朴な疑問や期待に、議員たちが本音で答えます。

今回のテーマ：選挙・政治・町の未来

制度も大事だけど、温かな「おはよう」。孤立を防ぐのは、若者の声

生徒 探究活動でお年寄りと接していると、家から出られず孤立している人が多いことに気づいた。こういう方たちのために、議会ができることって何？


寺井委員


川端 莉歩さん

議員 震災後の今、引きこもりがちな高齢者は多い。町の役割である、お金や制度の支援も大切だけど、それだけじゃ救えない心の問題もある。実は、みんなのような若い子が「おはよう」「こんにちは」と声をかけてくれるのが、お年寄りには一番の元気の源。ボランティアや交流活動を通して生まれる「心の絆」こそ、最高の対策だね。

生徒 町民の意見が真っ二つに分かれるような難しい問題があるとき、どうやって結論を出しているの？議員さん同士でも考えが違うはずだから、不思議だ。


稲畑 優希恵さん


村田 有杏さん

議員 原発を作ったときや合併のときも、本当に大きな対立があった。議員も人間だから考えは千差万別だけど、大事なのは粘り強く話し合って「ここなら納得できる」という接点を見つけること。自分の意見を押し通すだけじゃなく、いかに話し合って正しい方向へ導くか。これはみんなが学校で何かを決めるときの大切なプロセスと同じなんだ。

生徒 社会のことがまだよく分かっていない高校生がいきなり選挙に行っていいのかな？ 議員さんはどう考えているんだろう。

迷っていい。直感でもいい。「一票」という名の大人へのパスポート。


志田 つむぎさん


平野 優貴さん


冨澤委員

議員 最初から全部を理解しようなんて思わなくていい。ポスターを見て「この人、良さそうだな」という直感だけでも立派な一歩。選挙権が18歳からになったのは、みんなのフレッシュな感覚を政治に取り入れるためだから。自分の「ものさし」はこれから作っていけばいい。まずは難しく考えず、投票所へ足を運んでほしいな。

座談会を終えて　～議員たちの想い～

※今回は志賀高校２年生10人にご参加をいただきました。ご協力ありがとうございました。

「議員さんと話をするのは初めてで…」そんな不安から始まった対話でしたが、時間が経つにつれ、色々な質問が飛び出し、最後には生徒全員が「選挙で投票に行こうと思う」と手を挙げてくれました。若者の率直な疑問に触れ、私たち議員も改めて背筋が伸びる思いです。みんなの真っ直ぐな瞳こそが志賀町の希望そのもの。この一歩が、共に町の未来を創る大きな力になると信じています。

議員活動報告

防災拠点施設や、地方創生・官民連携事業、ホテル及び蓄電池等に係るPFI事業について課題を学ぶ



高知県南国市・本山町 愛媛県西条市を視察

令和８年９月30日から10月２日に高知県南国市、本山町と愛媛県西条市を視察しました。

高知県南国市では、平時の憩いの場と非常時の避難機能を両立した「津波避難タワー」の運用を調査。

本山町ではモンベル社との官民連携による地域活性化、愛媛県西条市ではPFI手法を用いた日本初のゼロエネルギーホテルと蓄電池事業を学びました。これら先進地の知見を、本町の復興と強靭な町づくりに活かしてまいります。

議員の視点

南国市のタワーは平時も公園として親しまれており、ハード整備が住民の意識向上に直結する好事例でした。

西条市の蓄電池事業等は、災害時の電源確保と環境負荷低減を両立しており、本町の復興計画の参考になります。

本山町の事例から、企業のノウハウと地域の自然を掛け合わせることで、新たな雇用を生む可能性を実感しました。





7/21	市町村議会議員研修 『議会におけるDXとAIの利活用』 小林克嘉議員　受講
8/20	羽咋郡議長会　議員研修会 『予算決算の読み方、一般質問の極意コンプライアンス』受講
8/26	石川県町村議会議長会 議員・監査委員 合同研修会
8/28	石川県町村議会議長会 議会広報委員会研修会

編集後記

志賀高校２年生を訪ねての意見交換があり、生徒から志賀高校の存続を尋ねられ、学校の魅力を自らの力で発信してほしいと答えたが、町も議会も、今以上に高校の魅力の発信、お金の支援をしなければと痛感した。（寺井　強）



議会へのご質問、「ぎかいのひろば」についてのご感想・ご意見などありましたら、ホームページの入力フォームをご利用下さい。



お知らせ

12月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

※本会議はケーブルテレビでも視聴できます。（生放送・録画放送）

12/1（火）	本会議 10:00	議案の上程 （町長が町の近況や議案説明をします。）
12/8（火）	本会議 10:00	一般質問 （議員が町政について質問をします。）
12/15（火）	本会議 14:00	議案の採決 （議案の可否について決定をします。）

発行責任者
議長　福田　晃悦
議会広報特別委員会
委員長　表谷　茂浩
副委員長　南　正紀
委員　寺井　強
冨澤　軒康
櫻井　俊一

発行／志賀町議会　編集／議会広報特別委員会
〒925-0198　石川県羽咋郡志賀町末吉千古１番地１
TEL (0767) 32-1111　e-mail：gikai@town.shika.lg.jp